

らんどせる

=港小のスローガン=

「元気」 みんな元気に

「本気」 なにごとも本気で

「勇気」 とともに勇気をもとう

港小学校 学校だより 令和3年4月20日

○新年度になって

令和3年度が始まって2週間たちました。コロナ禍で学校の多くの活動が変化した昨年度でしたが、まだまだ予断を許さない状況です。そんな中でも子どもたちは元気に登校し、新しい学級でがんばろうという気持ちが様々な場面で見られます。毎朝の校門前のあいさつもその一つで、元気よく、目を見て、時にはお辞儀してなど、とても気持ちがいいです。

今年度も感染状況をふまえながら、子どもたちが安心・安全な学校生活を送られるように努めてまいります。よろしく願いいたします。

○令和3年度学校組織

校長	奥谷 敦子
教頭	鈴木 淳 (西三河教育事務所より)
教務主任	田中 智恵
校務主任	杉浦 正徳 (南中学校より)
1の1主	中條 裕絵
1の2	深谷 和彦
2の1主	西尾 芳江
2の2	加藤 有貴 (高浜小学校より)
3の1主	榎本 伸
3の2	笠松 志奈 (吉浜小学校より)
4の1主	井上 陽子
4の2	林 祐有香 (新任)
5の1主	竹内 直人
5の2	神谷 恵美 (高浜中学校より)
6の1主	小長谷純一 (碧南・中央中学校より)
6の2	竹市 健二
6の3	増田 絵梨
あおみ1	近藤 瞬

あおみ2主	井上奈々恵 (南中学校より)
あおみ3	有馬加代子
あおみ4	南 かな
専科・少人数	福田 順恵
専科・少人数	平澤 愛美
日本語指導	渡辺 武尊
養護教諭	竹巻 明里 (長久手・南中より)
事務職員	川島 亘揮
通級指導	木村 美帆
栄養教諭	鈴木 亨奈 (翼小と兼務)
音楽専科	近藤 愛子
英語専科	稲垣めぐみ (高取小・翼小と兼務)
拠点校指導教員	亀島 真治 (吉浜小と兼務)
サポートT	柘植 淳子
アシスタント	可児 絵理
アシスタント	神谷 弥雪
アシスタント	都築麻理奈 (吉浜小学校より)
サポーター	杉浦 奈歩
サポーター	神谷 幸衛
サポーター	黒野 盛聖
ICT支援員	杉浦己喜夫
カウンセラー	浅田 園子 (南中と兼務)
用務員	岡本 吉郎

*この他、給食調理員、外国語指導助手、通訳など、多くの教職員が子どもたちの教育に携わります。

○多くの教職員の異動がありました

昨年度末で港小学校を退職された先生、異動された先生方がたくさんいらっしゃいます。退職・異動された先生方からメッセージをいただいています。今回と次回、2回に分けて掲載します。【裏面をご覧ください】

【加藤茂幸先生（教頭先生）】ご退職

港小のみなさん、新しい学級には慣れましたか。新しい友達はできましたか。学校生活を楽しんでますか。私は、港小の4年間、毎朝1階の教室に行って挨拶することが楽しみでした。私からの「おはよう」に対して、みんなからも「おはよう」の元気な挨拶がいつも返ってきました。いろんなお話をしてくれる子もいました。朝の挨拶でみんなから元気をもらっていたように思います。これからも元気な挨拶をしてください。保護者の皆様には大変お世話になりました。私は退職をし、教職を離れますが、陰ながら子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。ありがとうございました。

【岩川章子先生】ご退職

4年間、このあたたかい雰囲気の港小学校で過ごすことができてとても幸せでした。家庭科の授業、掃除、担任の先生がいないときの授業など、様々な場面でごんばっているみなさんと関わることができました。特に一生けんめいに掃除をしてくれる子が多くいたのはとてもありがたいことでした。自分から進んで働くことはいずれそれが自分の財産となって戻ってきます。また、この4年間で進んであいさつをしてくれる子が増えてきました。「あいさつ」と「返事」はこれから心と体が元気であるために、大人になるためにとても大切です。元気な港っ子でいてください。これからも見守っています。

【神谷秀光先生】ご退職

先生は毎日、あおみ2組のみんなとサッカーや鬼ごっこをするのが一番の楽しみだったなあ。詩知君とは毎日パンチを打ち合ったけど、おもしろかったよ。陸斗君は都道府県やローマ字テスト満点はすごかったよ。心平君は友だちをはげます言葉がすばしかったよ。剛君は人のためにいろんなサプライズを作ってくれたのは、すごく感動したよ。悠杜君は室内ゲームで、みんなに優しいことばをかけてくれるお兄さんになったと感心したよ。これから先生は、「記憶喪失の人」や「工事現場の人」などに变身できないのが、さみしいです。みんなありがとう。「またいつか笑顔で会いましょう。さようなら。」

【加藤とよ子先生】ご退職

5年間ありがとうございました。現在の5年生、4年生、3年生のみなさんとの思い出がたくさんできました。4年前の学芸会では「はたけの中は大きすぎ」というげきで、もぐらを追いかけて走り回るかえるの警備隊のお話。楽しかったですね。3年前の学芸会では「ぞうの鼻はなぜ長い」というげきで、「ブーーン、ブーーン」とおどるみなさんはかわいかったです。2年前の運動会では「RPG」の曲に合わせて元気いっぱいおどりました。そして、昨年は学習発表会で「かさこじぞう」をぐん読。どうどうと声を出す姿はかっこ良かったです。さて、昨年の経験から、みんなで学校生活を送ることがどれだけすばらしいことかがよくわかりました。感謝の気持ちをわすれずにすごしていきましょう。みなさんがそれぞれの目標にむかってがんばっていくことを期待しています。

【村上 文先生】南中学校へ

元気いっぱいの港小学校で過ごした3年間は、あつという間でした。いろいろなこと一つ一つがとてもよい思い出です。「えがお」「スマイル」「えがお」。これは、私が港小学校3年間で作ってきた学年だよりのタイトルです。私は、港っ子のみんなに笑顔になってほしい、笑顔で過ごしてほしいと願って、学校生活を送ってきました。私自身もみんなのきらきらとした笑顔から元気をもらっていました。ありがとう。港っ子のみんなには、これからも素敵な笑顔を忘れず、元気いっぱいに過ごしてほしいと思っています。これからも港小学校を応援しています。3年間ありがとうございました。

【河田文雄先生】高浜小学校へ

港小学校では、9年間お世話になりました。とても長い期間でしたので、いろいろなことがありましたが、全てとてもよい思い出です。昨年は、特別な1年となり学校生活がずいぶん変わってしまいました。今年がどんな1年であっても、どんなことにも一生けん命に取り組み、友達の気持ちを考えられる港小でいてください。6年生のみなさん。行事がなくなったり、縮小されたりする中でもクラスごとに話し合い、ミニオリンピックや卒業生を送る会をできたことは、よい思い出になりました。また、5年生のみなさんとは、3年生の時にいっしょに過ごしましたね。6年生、5年生とも高学年として下級生のよい手本になってください。

【兵藤聖子先生】吉浜小学校へ

「優しい言葉はエネルギーの素」

数年前のこと、港小学校で思いがけないピンチに出会いました。自分の不注意でアキレス腱を切ってしまったのです。ショックで頭が真っ白になり、明日からどうやって仕事をすればよいのか途方に迷いました。階段の下まで来ると、3階の教室が高い山のようにさえ感じられました。上の階を見上げてため息をついている私に、「先生どうしたの?」「ぼく、荷物を持ってあげようか」「肩につかまっていよいよ」と、すれちがう子たちが代わる代わる声をかけてくれたのです。「ありがとう」うれしさにいっぱいになりました。皆の言葉を聞いて、エネルギーが沸いてくる音がしました。「よし!できるぞ」落ち込んでいた自分に、お腹の底から力がみなぎってくる瞬間でした。私は今でもその感覚を忘れることはできません。港小のみなさんの優しい言葉には、人の心を動かすエネルギーがあるのです。